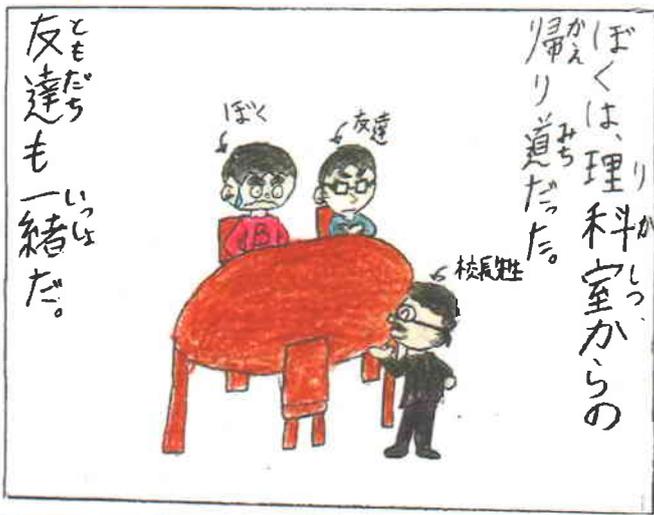


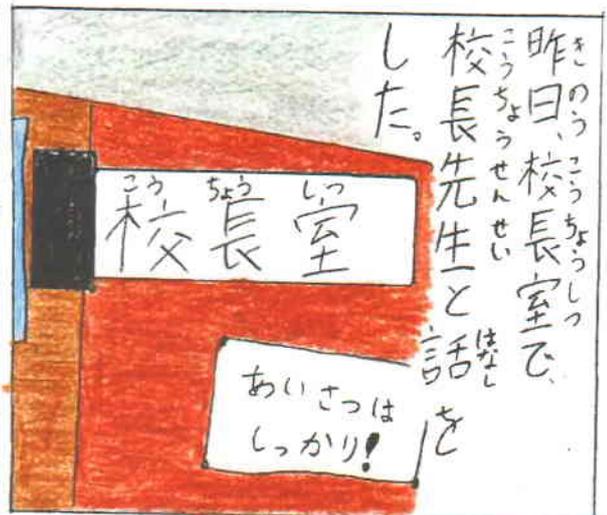
みらい 未来の落とし穴
お 落とし穴
あな





友達も一緒だ。

ぼくは理科室からの帰り道だった。



昨日、校長室で校長先生と話をした。



いえ、知らないです。



「お米の落し穴って、知ってるかい？」

その時、いきなりだ。



たぶん、大事な入学試験の前に、忘れものをするとか、さくさくさくとかね。

うう!!

そんなにわざわざないだろう。



でもね、人生の一番大事な時に力を発揮できない人が、なせか、いるんだな。

ええん!?



なんでもまじめに取組む
 ことか、おれに待ちうける
 「おれとしゃべりて、せせせと、
 埋めることになるんだよ



ひも、今の自分の心に、
 しくりとくるのは、
 なせだろう？



あれはただ、夢を見ていたのだろうか。
 短い会話をあつた。



おしまい

ほんほん
 本当本当
 にに
 あるような気がかしてきた。



「おれとしゃべりて、せせせと、
 埋めることになるんだよ」